



津波の被害で児童 108 人のうち 65 人が死亡、9 人が行方不明になっている石巻市立大川小学校（写真右の茶色い建物）すぐ近くに小高い山があるのですが、津波の勢いが強かったのでしょうか。校舎の敷地内には鯉のぼりがありました。（石巻市河北町）



雄勝病院では入院患者 40 人全員が犠牲になった可能性が高い。34 人の死亡が確認され、6 人は行方不明。職員なども 30 人のうち狩野研次郎院長はじめ 9 人死亡、15 人が行方不明となっている。（写真は雄勝町町内の様子）

なかなか進んでいない瓦礫撤去作業

震災から 1 カ月半が経過しました。瓦礫の撤去作業は幹線道路を除いてはなかなか進んでいません。また、宮城県で避難所生活を強いられている人は 41,084 人・417 ヶ所に上ります。（警察庁まとめ）

宮城県でも津波の被害が大きいとされる海岸沿いの河北町、雄勝町、女川町を 4 月 24 日、訪ねてみました。避難所によって、全国からさまざまなボランティアの参加がみられました。（記事と写真 神馬 悟）

河北町・雄勝町・女川町



津波は港から続く町の建物をなぎ倒して行った。26 日、女川原発の立ち入り調査の様子を報道していたが、浸水箇所もあり、決して安全とは言えない。（写真上は女川町山側の様子、下は港近くの水産加工工場）



雄勝総合支所

避難所には整体、美容師、大工などのボランティアさんが

写真は、災害対策本部、避難所になっている石巻市雄勝総合支所。天気が良かったので外の駐車場でマッサージボランティアの人が、被災者の全身を揉み解していました。

東京から来ていたボランティアさんに話を聞くと、石巻ボランティアセンターに申込み登録をして、4 日目になるということ、整体ボランティアは 20 人位登録していて、どこの避難所に行くかはお互いに情報交換しながら決めている。中には 1 か月以上活動している人もいます。マッサージの他に美容師、大工さん等様々な職種の方が来ているとの事でした。